

# 心を育てる栽培活動

京都 泉山幼稚園  
山田剛史・渡邊杏子

泉山幼稚園では保育の中に栽培活動を取り入れ、それが子ども達にとって“日常的なもの”“いつでもそこにあるもの”となるよう年少・年中・年長と継続してかかわってきました。それぞれの学年で育ちに応じた取り組み方をすることで栽培が身近な環境の一つとなり、保育者や友達と共に栽培活動を楽しんでいます。

## 栽培活動で育つ心

### 心の安定

・自然の中で過ごすことでホッと一息。種を蒔いたり、苗を植えたり、花を摘んだり...栽培物の生長を感じながらゆっくりと落ち着いた時間を過ごします。

### 生長の喜び

・お世話を続けていく内に栽培物が変化していくことに気付き、「大きくなってきた!」と皆と発見を共有し、生長を楽しみにします。また、できた野菜を食べておいしいと感じる経験が活動への期待に繋がっていきます。

### 興味・関心の広まり、深まり

・栽培活動を進めていく中でたくさんの“ふしぎ”に出会います。子ども達の「なんで?」と思う気持ちを大切に、共に考えたり、自分で調べたりしながら学びの芽を育てていきます。



3歳  
ねらい

身近な環境の中で自然と触れ合う。

好奇心を持ち、身近な環境に働きかけて遊ぶ。



栽培活動のスタートである3才児。保育者と共に種を蒔いたり、水遣りをしたりしながらその存在を知り、親しんでいきます。咲いた花を「きれい」と感じたり、野菜を皆と一緒に食べて「おいしいね」と顔を見合わせたり、種取りを楽しんだりと1年かけて活動や生長する楽しさを知っていきます。

4歳  
ねらい

身近な環境に親しみ、自然に触れる中で様々なことに興味・関心を持つ。



4歳になり、学年全体からクラスという小さな集団で保育者や友達とのかかわりを楽しみながら栽培活動を進めていきます。クラスの栽培物に愛着を持ち、彩り豊かなクラス毎の花と野菜の生長を楽しみます。3才児で育った栽培活動への見通しから更に関心を持ってかかわるようになり、自分の手で育てている実感を得ていきます。

5歳  
ねらい

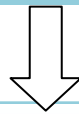
自然に触れて生活し、季節の変化に関心をもつ。

身近な環境に主体的にかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。



<1学期・きゅうり栽培の例>

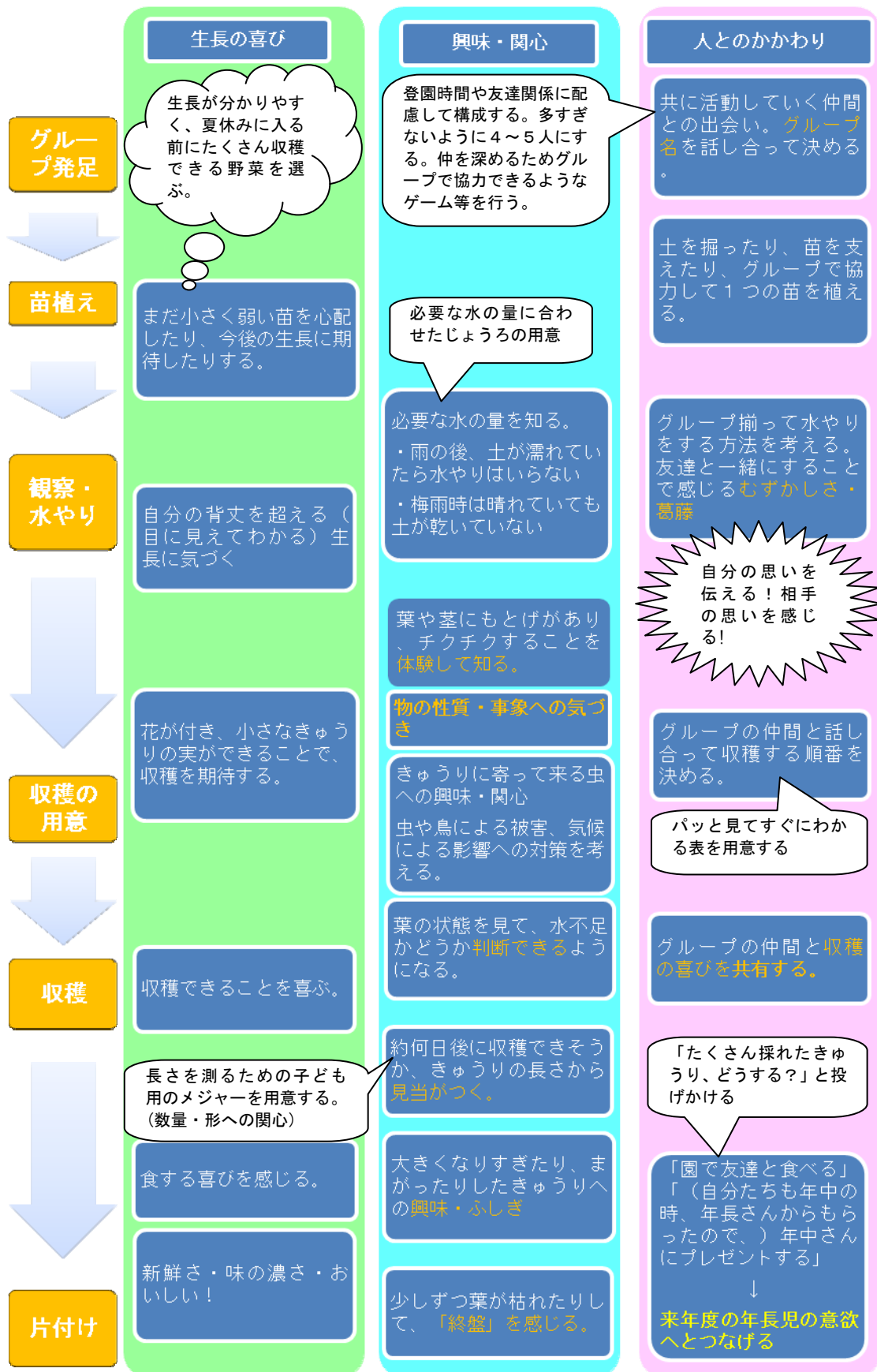
本園では、5歳で様々なグループ活動を行います。その初活動として、きゅうりの栽培を行います。



○友達の良さに気づき、共通の目的をもって、工夫したり協力したりして活動を楽しむ。

○身近な環境に主体的にかかわり、自己を発揮する。





# 家庭との連携

○みんなで土づくり！！  
(お父さんの手を借りて)



○収穫物を家庭に持ち帰る



味の感想や子どもの姿、  
エピソード等アンケートの  
ご協力をお願いします



通信としていただいたご意見を紹介する

○懇談にて子どもの姿や心の  
育ちを共有する場を設ける